

イシヨ1種 (*S. tuberosum* ssp. *tuberosum*)
 だけで、アンデスには他に少なくとも5種以上
 の栽培バレイシヨ (*S. tuberosum* ssp. *andigena*,
S. senotomum, *S. goniocalyx*, *S. phureja*,
S. chaucha, *S. ajanhuiri*, *S. juzepczukii*,
S. curtilobum, *S. hygrothermicum*)
 が存在する。それら様々なバレイシヨは、多
 様な気候・環境条件にも適応し、生物変異が
 大きく病害抵抗性遺伝子や新作物としての可
 能性を提供してくれる遺伝資源である。ある
 ものは中が黄金色で、また数多くが明らかに
 堅果の風味があり、ほとんどのものが普通バ
 レイシヨに比べて栄養価が高い。

9) オユコ (*Ullucus tuberosus*, ツルムラ
 サキ科)

アンデスの市場で外観的に最もめだつのは
 オユコである。オユコの塊茎は黄色、ピンク、
 赤さらにキャンディのように縞になって大変
 明るい色を呈し皮にあるワックスのせいでプ
 ラスチック製の偽物に間違えられるほどであ
 る。塊茎はクルミ大で澱粉質である。インカ

独特の料理の材料であったが、前世紀にその
 消費を拡大していった数少ない特産作物の一
 つである。ある地域では、炭水化物の食料と
 してバレイシヨと一位の座を争っている。珍
 味と考えている人も多くいて、町のスーパー
 マーケットでパック詰めを買うこともできる
 ようになってきた。オユコは口あたりがよく、
 バレイシヨのように調理され主に濃いスープ
 やシチューに利用される。

10) ヤーコン (*Polymnia sonchifolia*, キ
 ク科)

ヤーコンはヒマワリの遠い親戚である。コ
 ロンビアからアルゼンチン北部の温暖な盆地
 で栽培されていて、白く甘く汁気の多くカロ
 リーのほとんど無い塊根を作る。その多汁性
 のため、生でも食べられ良いおやつにもなる。
 もちろん料理にも使われ、主にセロリのように
 利用される。また、牧草としても将来性が
 ある。ヤーコンはオリゴ糖含量が高いため、
 工業用原料として注目されている。そのため
 に最近、日本でもかなり紹介され研究される
 ようになった。

常識法話

◆ 不動産窃盗 ◆

終戦後の混乱に乗じて、他人の土地建物
 を不法占有する者が多いので、昭和35年に
 刑法に不動産窃盗罪が追加された。境界を
 動かしただけでも、10年以下の懲役に処さ
 れることになった。

その直後、市役所と登記所の公図の相違
 に乗じて、枝番の記載違いを利用し、他人
 の土地に平家の貸家2軒と、二階建の貸家
 1軒を建築した現場に突き当たり、その建て

た夫婦を現場に呼びだし、民事などという
 悠長な手続はしないからと言渡しておき、
 あわてて仮処分をしに執行官と同伴したら、
 大半の新築をコワして、こっちの方がビッ
 クリした。そして、刑事告訴をしたのかと
 質問してきた。

あのくらい、新しい法律の効果のキキメ
 の強いのに驚いたことはなかった。相手は
 不法建築であることを何もかも、承知の上
 で、実行しているのである。呆れて物が云
 えないのである。